



衆議院議員

自民党政調副会長 元農水・環境副大臣

小里やすひろ

後援会・自民党支部報
衆議院議員小里泰弘後援会
自民党鹿児島県第三選挙区支部
鹿児島事務所
鹿児島県薩摩川内市平佐1丁目10
TEL 0996-23-5888
FAX 0996-23-7111

決める。進める。結果を出す。地元 いちき串木野市と共に。
小里泰弘は、市・県と一体となって郷土の事業を力強く推進中です。

地域を元気に。小里やすひろのチャレンジ トピックス 2021

1.「大里川」に国の「大規模特定河川事業」により抜本的治水事業を推進

令和元年7月豪雨災害を受けて、大里川に国の新たな補助事業を導入。河道拡幅、橋梁架け替えなど、抜本的治水事業を推進。地域の安全を確保します。【全体事業費】14億円



大里川災害を視察

2.安全・安心 便利な港へ 漁港・漁場整備事業予算を確保しつつ推進

串木野地区：島平防波堤新設、浮棧橋新設等 羽島地区：臨港道路整備等
戸崎地区：西防波堤かさ上げ、浮棧橋新設等 市来地区：泊地浚せつ、航路浚せつ 等



田畑市長と打ち合わせ

3.西回り自動車道 美山～伊集院間で4車線化事業決定。より便利、安全に

西回り自動車道(美山～伊集院IC)において令和2年度、4車線化事業の事業化が決定しました。【全体事業費】140億円



市議・県議・漁協の皆さんと勉強会

4.西回り自動車道 阿久根-川内間 予算を倍増して両側から工事を加速

昨年11月の川内側からの着工に続き、予算を倍増し、両側から建設事業を加速化。【予算の推移】令和2年度 15億8千万円→令和3年度 33億3千万円(補正予算を含む)



自民党国土交通部長として

5.自民党新法案によりいちき串木野市の事業を国が新たに財政支援

自民党が進めた「過疎地域持続的発展支援特別措置法案」により、新たな対象自治体として県内で唯一、いちき串木野市が認められ、道路づくり、学校、保育所整備など市が行う事業について、国庫補助率のかさ上げ、県による肩代わり、有利な借入金と財政支援等、国からの新たな支援を受けられることになりました。



西回り自動車道建設促進大会で

6.神村学園前駅横断歩道橋設置事業完成へ

神村学園とJR神村学園前駅を結ぶ横断歩道橋設置事業を支援。令和2年4月完成しました。



神村学園前駅横断歩道橋完成式で

7.美しい吹上浜海岸を守る一浜崖、浸食被害防止へ国の事業を推進

昨年に引き続き、林野庁予算を増額。国土交通省による海岸保全事業も予定します。林野庁関係事業：浸食防止工・植栽等 【令和3年度事業費】9200万円

地域の声が原動力。週末は地元(いちき串木野市)に帰り フル回転



観音が池市民の森さくら祭り



いちき串木野市民体育大会



地域の祭り



グランドゴルフ大会始球式でホールインワン



地域のミニ集いで



さのさ祭り



ガウンガウン祭り慰労会



商工会議所年始会



地域の敬老会



地かえて祭り

花に水、人に心。小里やすひろの歩み



■衆議院議員連続5期当選 皆様の地元の代議士として

- 昭和33年霧島町生まれ。
- 霧島中、鶴丸高、慶応大学
- 野村證券で生きた経済を学ぶ。
- 労働大臣秘書官、震災大臣秘書官、総務庁長官秘書官等務める。
- 平成17年衆議院議員初当選。以来、連続5期当選。
- 薩摩川内市隈之城町在住



衆議院本会議で

■災害と闘う

日本一の治水事業を実現 川内川・米ノ津川が恵みの川へと

平成18年の北薩豪雨災害を受けて、小里やすひろは、築堤、掘削、分水路、ダム再開発、かわまちづくりなど、技術の粋を尽くした「日本一の治水事業」を実現。暴れ川が穏やかな「恵みの川」へと変貌しつつあります。



谷垣財務大臣を現地に案内 (平成18年7月)

東日本大震災対策を主導

当選二期目、東日本大震災に際し、小里やすひろは、自民党震災対策プロジェクトチーム座長に抜てきされ、幾多の現場視察をふまえ、避難所対策から復旧対策まで577項目の対策を民主党政権に提案。その多くが実行されました。



被災地を視察(平成21年3月)

口蹄疫と闘う



豪雨災害対策に



鳥インフルエンザに

赤潮被害対策に



新燃岳噴火対策



台風被害対策に



■夢と希望の持てる農山漁村へ

自民党農林部会 部会長として 失われた農政を取り戻す

当選三期目、民主党から政権を奪還し、自民党の農政の責任者として農業予算を回復。「農地・水・環境保全向上対策」、「飼料米制度」、「畜産増頭対策」、「六次産業化」等、新農政の指針を示しました。



自民党農林部会を指揮 (平成24年12月～)

農業・農村、健保を守る TPP決議をリード

TPP交渉に際し小里やすひろは、安倍総理と正面から向き合い、農業重要五品目や健康保険制度など「国益を守る決議」を策定し現場や国益を守る切り札となりました。



予算委員会で安倍総理と討論(平成25年3月)

農水副大臣・衆議院農水委員長 -現場本位の農政を推進

中山間地農業、小規模農業対策、畜産対策...現場本位の農政を推進。



衆議院農林水産委員会で答弁 (平成30年9月～)

鳥獣被害対策に。ジビエ振興議員連盟を設立

ジビエ(鳥獣肉)利用振興議員連盟を設立。議連幹事長として推進。



ジビエ試食会で

■環境副大臣・内閣府副大臣 震災復興や原子力防災に



原子力防災訓練を指揮

環境国際会議を主催

■政権奪還の最前線に 党副幹事長として



予算委員会で(平成22年2月)

■コロナと闘う

小里やすひろは、コロナ対策チームメンバーとして現場や生活を支援する対策を推進。

- 持続化給付金
- 中小企業資金繰り支援
- 雇用調整助成金
- 学生支援緊急給付金
- 医療提供体制の充実・強化、医療関係者支援
- 子育て世代支援給付金
- 農林漁業者経営継続補助金
- 観光・飲食業需要喚起支援策
- ワクチン接種体制整備等



地域の皆さまと意見交換会 (令和2年4月)

■自民党国土交通部会長として

道路づくり、まちづくり、観光振興、防災...与党の責任者として先頭に立って推進。



国土交通部会を指揮 (令和元年9月～)

現在の主な役職

- ・自民党政調副会長
- ・自民党地方組織・議員総局長
- ・自民党道路調査会副会長
- ・自民党農林食料戦略調査会副会長
- ・東京一極集中打破議員連盟幹事長
- ・西回り自動車道建設推進議員連盟幹事長等

小里やすひろはこんな男

信条
花に水、人に心

趣味
釣り、読書、政策

好きな食べ物
たまご、コロッケ

スポーツ
剣道・野球

尊敬する人物
西郷隆盛

愛読書
西郷南州翁遺訓

小里やすひろの五つの全力

- ①新型コロナウイルス対策を推進しつつ、経済再生を確かなものにします。
- ②生涯安心できる医療・介護・年金・子育て制度を確立し、誰もが活躍できる人生100年社会を創ります。
- ③夢と希望の持てる農林漁業と観光を推進し、元気な地方を創生します。
- ④防災・交通・物流・通信インフラの整備で安全で豊かな暮らしを創ります。
- ⑤国際社会に貢献しつつ日本の平和と国益を守ります。



頼もしい人格者

小里 泰弘
連合後援会長
前薩摩川内市長
岩切 秀雄



「小里さんは、決して人を悪く言わず、引き受けたことは誠実に実現する。頼もしい人格者です」